

奥久慈男体山山行報告

【山行日】2018年 11月 29日(木) 快晴

【集 合】道の駅「しもつけ」P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 2,000円

【メンバー】CL: 鈴木、安西、大西、岡、島田、関、福島

【コースタイム】道の駅「しもつけ」P5:00＝大円地
P7:20/7:40～奥久慈男体山 9:00/9:30～白木山分岐
10:10～第2展望台 11:20～第1展望台 11:45/12:30～

月居山 13:20～袋田の滝 14:10/14:30＝JA 奥久慈直売所 14:50/15:10＝道の駅「しもつけ」P16:45

29日に平日山行のリクエストがあり、紅葉がギリギリ残っていることを期待して奥久慈男体山を計画した。今回は少し歩きたいと言う要望があったので、健脚コースから男体山に登り袋田の滝ま



で縦走する計画にした。

道の駅出発が10分遅れ、大円地駐車場に予定より10分遅れて着いた。

出発の準備をし、トイレとストレッチを済ませたら出発する。大円地山荘横の茶畑の中の道を行くと、二手に分かれ左に健脚コースと標識がある。標識に従って左に進み、杉の植林帯の道を登って行く。枝尾根に出ると間もなく、滝倉コースとの合流点に出る。岩場の登りが続き、ロープや木の根を頼りに急坂を登り上がると

岩上の尾根に出る。左に少し行くと展望台になり、西から南方面の展望が開けている。展望や紅葉を楽しみながら休憩し、衣服調整をして疲れた体を休める。ここからはジグザグに急な岩場の登りになり、その後長いクサリ場が連続する。クサリ場が苦手な A さんも、しだいに慣れて来て上手に岩場を登れるようになった。長いクサリが終わると傾斜が緩やかになり、東屋がある平坦地に出る。袋田の滝へは左に行くが、一旦右手に進みほんのひと登りで男体山山頂に着く。山頂には標識とアンテナが立ち、日光連山や霞ヶ浦等展望が素晴らしい。リンゴや菓子を食べてエネルギーを補給し、記念写真を撮ったら袋田の滝に向かう。来た道を東屋まで戻り、ここから北に向かって尾根上の道を進む。明るい尾根道を進むと長福への道を左に分け、539mピークを越えて一旦下り、登り返すと白木山分岐に出る。小休止後分岐を左に進み、急な岩場を下降するが、階段状に足場が切られクサリも付いている。下り切ると左右から沢が落ちて来ており、沢の合流点付近を木橋で渡る。



その先はアップダウンを繰り返しながら北に進むが、鞍部の谷間にはカエデの紅葉が残っており陽射しを受けてとても美しい。皆さんも「こんなに綺麗な紅葉が見られるなんて超ラッキー！」と感動していた。展望が無い同様な山道を辿るが、次々に真っ赤な紅葉が現れ飽きることは無い。やがて左側の展望が開けた尾根に登り、途中の岩が突き出た所が第二展望台だ。

展望を楽しみながら尾根道を進み、大きく下って登り返したピークが第一展望台の鍋転山だ。

山頂には三角点と屋根付きのベンチがあり、第一展望台と彫られた石碑が立っている。ここでラ

ンチタイムとし、温かいキノコうどんと出汁巻き卵等を美味しくいただく。ランチが済んだらタクシー



会社にTLEし、13時30分に袋田の滝に来るようお願いします。ここからは我輩が一人で先行し、袋田の滝まで降りてタクシーで大円地まで行き車を回収する。皆さんはゆっくり月居山に登り、山頂付近の紅葉を楽しみながら袋田の滝に向かう。月居峠から月居観音堂に寄り、月居山北嶺に登り返して袋田の滝の脇を下り駐車場に着く。皆さんを車に乗せて JA 直売所まで行き、靴を履き替えてお土産や飲み物を買って帰路につく。復路はナビ推奨の上小川か

ら大子美和線を通り、那須烏山市から高根沢町経由で国道4号線へ出るコースを通り、30分早く道の駅「しもつけ」に帰着出来た。